港区探訪

歌舞伎「元禄忠臣蔵」特集①
「浮世絵と港区」入門編

バックナンバー

2006年12月17日、国立劇場にて「元禄忠臣蔵～第三部～」貸切公演が上演されました。これに先立ち港区では、展示会、ウォークラリー、歌舞伎役者によるトークイベントなど「忠臣蔵」にちなんだ様々なイベントを開催しました。港区探訪では、4回にわたり港区にゆかりの深い忠臣蔵や江戸の世界を「浮世絵」を通してご紹介いたします。第1回は「浮世絵と港区"入門編"」です。

浮世絵版画とは

浮世絵とは、その時代の流行りの人々の暮らし、風物、事件などを題材とした江戸時代の絵画です。絵師が直接描いた肉筆浮世絵と、絵師が描いた下絵を木版で摺った浮世絵版画があります。初期の浮世絵版画は墨一色の単純な画でしたが、明和年間（1765年頃）鈴木らの絵師によって、多色摺りの技術が確立されると、江戸の庶民の文化として花開きました。

数色から十数色におよぶ多色摺りの浮世絵版画はその美しさから「錦絵」と呼ばれ、海外からも高い評価を受けています。錦絵は絵師の力量のみならず、下絵を版下に彫る「彫師」、多くの色を摺り重ねる「摺師」の繊細で高度な技が重なりあってはじめてできあ

▲「浮世美人十二箇月　芝神明せうが市九月」 渓斎 英泉画（1835～41頃）
円の中の千木筥（ちぎばこ）は、着物が増え良縁につながる縁起物。芝大神宮（芝大門）のだらだら祭り（9月11日～21日）で現在も売られています。

がります。

江戸庶民の生活に密着した浮世絵

浮世絵版画は現代の私たちにとっては見事な美術品ですが、作られた当時は、庶民の日用品として店頭に並ぶ商品でした。たとえば、歌舞伎役者や相撲力士の絵は、今でいうタレントやスポーツ選手のブロマイド、「名所絵」は人気スポットの情報誌、流行の衣裳をまとった「美人図」はファッション雑誌のような役割を担っていました。読み物や芝居を題材にした絵、子ども向けの家庭学習教材やおもちゃ絵もありました。流行の風俗や事件がいち早く描かれ、飾って楽しむだけでなく、日々の暮らしに必要な情報や教養を得る実用品だったのです。

江戸の風光明媚な場所を描いた「名所絵」は、「吾妻錦絵」（吾妻は東の意）とも呼ばれ、軽くて美しい江戸土産として大変重宝されたようです。

浮世絵人気が高まるにつれ、人気のある絵師の浮世絵版画に、高額な値段がつくこともありました。贅沢品を禁止した天保の改革（1842年）では、浮世絵版画の値段を1枚16文に制限しています。

当時の16文は二八蕎麦1杯の値段と同じ。現在の立ち食いのかけ蕎麦1杯の価格と考えるとわかりやすいでしょう。ちょうど週刊誌1冊の値段と同じくらいです。3枚続きの浮世絵版画はこの3倍になりますから、新刊本1冊程度の値段。私たちが週刊誌や新刊本を買う感覚で、江戸の人々は浮世絵版画を買っていたのではないでしょうか。

▲「仮名手本忠臣蔵十一段一覧」 歌川 芳満画（1856）
庶民の最大の娯楽だった歌舞伎は、興業主や版元の意向が大きく働いていました。大星由良之助（おおぼし ゆらのすけ）ら四十七士が主君の敵、高師直（こうの もろなお）を討ち取る場面が3枚続きの浮世絵で描かれています。

浮世絵を作り出した場所

港区は高輪、愛宕山、増上寺など江戸庶民に人気の場所が多数あり、名所絵が多く描かれています。また現在の浜松町・芝大門あたりは、江戸から東海道への出入り口としてにぎわう繁華街で、錦絵や（絵入りの娯楽小説）を製造販売する「版元」（一般には「絵草紙屋」ともいう）がを連ねていました。地区の版元の数は、日本橋に次いで多く、人気の浮世絵師の作品が多く作られています。つまり港区は、描かれるだけでなく作品を作り出す場所でもあったのです。

（次回は「名所絵に描かれた港区」をご紹介します）

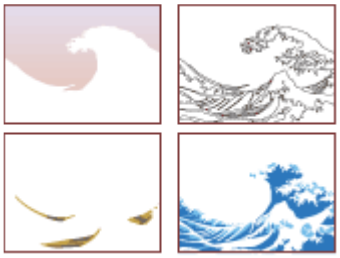
港区立港郷土資料館（文化財保護調査員）
小澤絵理子

浮世絵ができるまで

1

絵師が墨1色で下絵を描きます。

2



彫師が下絵を木に貼り、輪郭線を摺る主版（おもはん）と色版（色数分必要）を彫ります。

3

摺師が版に絵の具をつけて和紙に摺ります。すべての版がずれないよう塗り重ねていきます。（摺ると左右が反転します）

▲このページのトップへ

｜個人情報保護について [PDF]｜

Kissポート財団
(公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団)
港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティーぷらざ
電話：03-5770-6837/Fax：03-5770-6884
お問い合わせ：fureai-info@kissport.or.jp

Kissポート財団について

JQA-QMA12663
JQA-EM4580
10861140(03)

このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。
当財団の許可なく複製、転載は出来ません。